

作品大募集ゆり北文化展

日頃の成果を発表してみませんか？
囲碁・将棋コーナーも開催予定！
お問い合わせは自治会役員まで

ゆり北

第241号 (22期 第6号)

発行・光が丘パークタウン
ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-11-511

TEL03 (3977) 0228番

発行責任者 塩 原 継 雄

大地震に備えて

住民防災組織からの提言

一〇月六日深夜一時四〇分、茨城県南部を震源とする地震があり、板橋区でも震度四の揺れが観測されました。

その時、あなたはどこにいましたか。自宅では物が落ちませんでしたか。あるいは、帰宅途中の電車や自動車、もしかしてエレベータの中ではありませんでしたか。

まず、家の中で大けがしない対策を

板橋区は、震災発生直後の二、三日は区の援助は間に合わないだろうと言っています。そこで私達はすぐに水・食料の備蓄を考えがちですが、ちよつと待つてください。水・食料はもちろん重要ですが、その前にまず、家の中で大けがしない対策を考えるべきです。

激しい上下左右の揺れで、家具や家電製品が移動・転倒して下敷きになったり、棚の上に置いた物や照明が頭やお腹に落下したり、食事の準備でレンジの前に立っていれば、鍋の湯や油を浴びたりするかもしれません。

地震で電気、ガス、水道が止まり、電話も通じず、当然エレベータも動きません。そのような状況の中で、住居内で頭や内臓を損傷した場合、外傷で大量出血した場合、また熱湯・天ぷら油で火傷した場合に、それらのけが人を救う方法があるのでしょうか。

- ① 救急隊に連絡を取ろうとしても、電話は使えません。
- ② 火傷には、清水による洗浄冷却

が必要ですが、水道は断水しています。

- ③ けが人を建物の上階から下に降ろそうにも、エレベータが動きません。

- ④ 拠点避難所の赤塚新町小学校では、救急病院で行う一刻を争うような治療は出来ません。

- ⑤ 救急病院にけが人を運ぶ手だてはあるでしょうか。主要道路が壊れてはいないでしょうか。たとえ消防署に連絡が取れて救急車の出動を要請できたとしても、

- ⑥ どうにか救急病院にたどり着けても、多数のけが人が運び込まれる中で、すぐに治療が受けられるでしょうか。

これらを考えれば、家の中で大けがしないことを地震対策の最優先とすべきことは明らかです。家具の転倒防止、家電製品の移動・転倒防止、照明の落下防止等の対策を行い、地震発生時に調理中であれば火傷をしないようにくれぐれも気をつけてください。

エレベータに閉じこめられる恐れは

地震発生時には、エレベータは自動的に最寄りの階で停まって、扉が開くことになっています。しかし停電したらどうなるのでしょうか。平成一四年四月二七日に起きた停電では一ノ号棟エレベータの中に住民が閉じこめられました。この時は限られた地域の停電でしたから、一時間

程でエレベータ会社の係員が来て救出できましたが、大規模な震災の時は、救出まで何時間待たされるかわかりません。

団地の自家発電設備はエレベータを動かすようにはなっていない。表示灯が消えればどこにエレベータが停まっているかわかりません。各階に停止する賃貸住宅の場合は、階段を上つていけば停まっている階はわかります。分譲住宅の場合は、三階ごとのスキップ方式になっているので、どこに停まっているかすぐに特定できるかどうか。特定できたとしても私達は閉じこめられた人を救出することは出来ません。出来ることは、励ましてあげることだけです。救出は、専門家に任せるほかありません。

住民防災組織としては、都市再生機構や住宅管理組合を通して、早期にエレベータ会社と震災時の対応について打ち合わせしたいと考えています。その一方で、地震を想定したエレベータの作動確認実験を行いたいと考えていますが、万一その実験を行ったために、エレベータが故障して動かなくなったりすると大変です。慎重に検討しなくてはなりません。

住民防災組織の本部役員が活動開始

当団地では、水没等の被害は考えにくく、また周りを公園や団地が囲んでいるので大火となる恐れも少ないと思われる。したがって、住民防災組織が活動するような事態は、

次のような非常時に限られます。

- ① 大地震による災害で、赤塚新町小学校に拠点避難所が開設されています。

- ② ライフ・ライン（電気、ガス、上水道、下水道、電話、熱供給）が、すべてサービスを停止しています。

- ③ 住民が、次々と拠点避難所である赤塚新町小学校の体育館に、避難してきています。何らかの理由で、自宅での生活が困難な状況にあると思われます。

住民の不安は、まず、状況がわからないことから考えると考えられます。震災時には、早急に団地をはじめとする地域の現状を住民の皆様に認識していただけるように、情報収集と情報公開に努めます。その上で、住民の自主的なボランティア活動で避難所を運営して、早期に住民の自立を促し、出来る限り早く自宅での生活を再開させます。避難所運営の原則は、情報公開とプライバシー保護です。

いつ大規模地震が起こってもおかしくないと言われる状況の中で、住民防災組織の本部役員が現在行っている活動は時間との競争です。震災発生時に住民防災組織がまず何をなすべきか明確にするために、阪神淡路大震災をはじめとする様々な震災に関する資料を集め始めたところ。いずれ具体的に活動内容を明文化し、それに優先順位を付けることを計画しています。

ゆりの木北住民防災組織

自治会からのお知らせ

ゆり北防災訓練

日時 十一月七日(日)
午前一〇時〜一時三〇分
場所 赤塚新町小学校 校庭

詳しくは、ポスターおよび別途配布するチラシをご覧ください。

古布・古着の回収

日時 十一月二七日(土)
十一月二八日(日)
午前一〇時〜午後三時
場所 赤塚新町小学校 体育館入口
回収する物 一般家庭にある古布・古着で、洗濯すみの物
回収しない物
・布団、座布団、マット類
・粗大ゴミとして出してください。
・帽子、靴下、手袋
・ぬいぐるみ
・学生服、紳士背広上下
・カーテン

ゆり北文化展

日時 十一月二七日(土)
午前一一時〜午後五時
十一月二八日(日)
午前一〇時〜午後三時
場所 赤塚新町小学校 体育館
搬入 十一月二七日(土)
午前九時〜一〇時
搬出 十一月二八日(日)
午後三時〜三時三〇分

夏期夜間パトロール体験記

―真夏の夜のパトロール―

恒例の夏の夜間パトロールが、お盆直後の七月一七日から九月一日までおよそ二か月間にわたって、曜日を交えながら八回実施されました。このパトロールは、自治会役員・号棟世話人と管理組合理事の方々に、班を編成して行われているものです。私ははじめての参加で、熱帯夜が続く旧盆前の八月一〇日のことでした。一〇号棟の防災倉庫前に二時三〇分に集合。これから各棟の周辺や通路、駐車場などを懐中電灯の光を頼りに約一時間見回り、不法駐車や不審者などをチェックしました。

この夜は、五号棟西、六号棟東、一四号棟東通路に不法駐車が計五台認められましたが、パトロール記録によれば八回のパトロール中一番少なかった日となっています。

夜の九時を過ぎると団地内には人影もほとんどありません。懐中電灯の光が暗闇の中に幾筋も動いて植え込みの中や不法駐車車のナンバープレートに照射しながらの巡回でしたが、こうした小さな活動や努力が、この団地の防犯や生活の安全につながっているということを感じました。

一〇号棟 N

2004年夏期パトロール報告書

2004.09.26

- 1. 計画・実施：8日間の計画に対し、晴天に恵まれ全日実施
- 2. 延べ参加人数：40名
- 3. 不法駐車

日付	1号棟北	4号棟北	5号棟西	6号棟東	10号棟東	13号棟西	14号棟東	合 計
7/17	2	0	3	0	1	0	4	10
7/25	1	0	3	0	3	1	2	10
8/2	0	0	1	0	2	0	7	10
8/10	0	0	1	2	0	0	2	5
8/18	1	0	1	0	1	2	3	8
8/26	0	0	1	1	2	0	4	8
9/3	1	0	2	1	1	0	2	7
9/11	0	0	3	2	2	0	5	12
合 計	5	0	15	6	12	3	29	70

自治会費
納入のお願い

一月は、自治会費第二期分の集金月です。八月以後の会費未納のお宅には、自治会役員または世話人が集金に伺います。なお、自治会費はU F J 銀行の預金口座から自動引落しで納めることもできます。ご希望の方は、自治会役員までお問い合わせください。



和やかににぎやかに
長寿を祝う集い

恒例の長寿を祝う集いを敬老の日の九月二〇日に行いました。

赤塚新町光が丘集会所が改修工事のため、入居が始まったばかりのゆりの木通り三三番街の集会所をお借りして一時半に始まりました。

自治会会長塩原さんの挨拶の後、福祉部の五十嵐さんの乾杯の音頭で会食となりました。総勢八〇名に会場が少し狭いほどでしたが、熱気に満ちた楽しい会話がテーブルごとに盛り上がりつつあったようです。



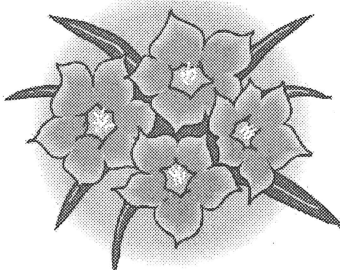
今年は、春風亭美由起さんのかわりに三遊亭花楽京さんが若々しい芸を披露しました。三遊亭楽太郎さんのお弟子さんなのだそうです。

続いて、ゆりの木コーラスの皆さんが今年も素敵な歌声を聞かせてくださいました。「一緒に歌いましょう」のプログラムの「ふるさと」は誰もが知っている子どもの頃の歌ですが、しみじみとしたいい歌ですね。日本の旋律は何故か悲しい気持ちにもさせられます。



宴も進み、ゆりの木会を代表して一三号棟の中村さんのご挨拶があり、また五号棟の星名さんが出席者の最高齢ということでマイクを握りました。とても九〇歳を越えた方とは思えない声の張りで、「長寿を祝う集い」にふさわしい締めくくりでした。入居後二二年目を迎えたゆり北で、高齢化は確実に進んでいます。住む者も元気で美しく年を重ねたいと思います。それが、それと並行してお互いに少しずつでも理解し合って必要な助け合いが無理なく出来る住み心地のよい団地を目指したいと思っています。福祉部では皆さまのご意見を伺う企画を検討中です。困っていることなどありましたら、いつでもお声を聞かせてください。

福祉部



あなたの身近に「オレオレ詐欺」

ゆり北号外でお知らせしたとおり四号棟Mさん方に一〇月一四日(木)朝九時半ごろ中年の男性の落ち着いた感じの声で「Mさんのお宅ですか。こちらは警察の交通課の者ですが、おたくのだんなさんが運転している車が事故に遭われました」という電話がありました。Mさんが「うちの主人は車の免許を持っていません」(Mさんのご主人は本当に運転免許を持っていない)と言うと電話はすぐ切られたそうです。

この様に、最近のオレオレ詐欺は、警察や法律事務所・弁護士といった者を名乗りいかにも本物の事故や事件を装います。まずは疑う事ですが、そのときに冷静な対応がなかなか取れません。そこで、電話は一度切ることをお勧めします。電話を一度切ることによって冷静になれるし、相手の電話番号を確認できたなら一〇四の番号案内で本物かどうか確認できます。テレビや新聞で報道されていてはいいのですが、身近で起こっています。他人事ではありません、どうかご注意ください。

編集後記

このところすっかり秋めいてきました。皆様はどんな秋を楽しんでいますか？私は、もっぱら「食欲の秋」ですが、妻は「芸術の秋」を堪能するためにミュージカルや芝居の鑑賞に出かけています。小二の息子は、「読書の秋」(でも一年中本は読んでいます)。そんな息子の本を読んだら、涙が出そうになりました。こんな人ばかりなら世界はもう少し住みやすくなるのに。ちなみに、その本は「くまの子のウーフ」のお話です。秋の夜長、皆さんも「本」を読んでみてはいかがでしょう。